

# 成長・貢献・感謝

羽地中学校  
学校だより 80 号  
R1. 8. 27

## 羽地中 学校

続ける 広げる  
深める

学校スローガン  
やってみよう  
やればできる自信  
のある学校

### 二学期 始業式

最も長い二学期が始まりました。夏休みの気分から抜けて学校生活に戻るには、時間がかかりそうですが、一週間もすれば気分が戻るでしょう。夏休みの宿題は、自分のためになる勉強ですので、逃げ出さず、必ず仕上げましょう。大きな後悔をする前に、少しずつ前進しておけば、逃げの弁解から解放されます。基本は続けることです。

二学期も引き続き、「成長・貢献・感謝」を続けよう。授業では、他の意見や考えを理解して、知識や技能と思考力・判断力・表現力を広げたり、深めたりして成長しましょう。シャツを入れる。内履きをはく。先にあいさつする。敬語を使う。清掃時間は精一杯きれいにする。5分前行動する。ロッカーを整理整頓する。話し合い活動に参加する。当たり前前の事をやり続けることでまわりに貢献しよう。安全に行動し、互いの違いを尊重し、周りに感謝して行動しましょう。二学期終業式まで、あと、85日です。

生徒会テーマ  
実践躬行  
Let's Try it!  
やってみよう

### 生徒会



続ける  
広げる  
深める

## 学校の空気をつくろう

全体朝会などの集会時に、始まりの号令や指示がなくても、ある一瞬、ピタッと静かになる時間があります。皆さんも経験したことがあるでしょうが、私は、このシーンとして張り詰めた、静寂な空気が大好きなのです。何故なら、何かを待って、何かに向かう瞬間だからです。同じようなことが、教育月刊誌に書かれてあったので、嬉しくなりました。紹介します。大空小学校の元校長・木村先生の「今日のことば」です。

空気をつくる

元大阪市立大空小学校校長

木村 泰子

「みんなの学校」に飛び交っていた言葉は「空気をつくらう」でした。開校時の始業式で当番の先生が「キラツク・前へならえ」と号令をかけたあと、「校長先生と朝のあいさつをします。校長先生お願いします。」と迎えられるました。

私は、お願いされなくても自分で出てくるし、あいさつは校長とするのか、指示や号令がないとみんなは整列できないのかと、三つ問いかけてました。その後、巻き戻しをすることに、再度入ってきた子どもたちは先生の指示を待つのですが、「邪魔をしない」と校長から言われている先生方はいらいらしながらも動けません。

20分待ちました。指示や号令を待つことをあきらめた子どもたちは、互いに声をかけ合いながら整列を始めました。その時、講堂中の空気が一瞬ピタッと止まったのです。その瞬間に前に走り、あいさつしました。「みんなの学校」から号令や指示が必要なくなったのはこのときからです。

〈あと省略〉